

前回委員会のご意見に対する取り組み状況

	ご 意 見	対 応
	会議通知を出すときに、前回の議事録を同封して欲しい。	今回から同封させていただきました。
番組表	子育て支援センターに行ったが番組表がどこにあるのかわからなかった。駐車券処理機のところへは絶対行くのでその辺りに置いたらどうか。	前のご意見をいただいてお願いに行ったが、駐車券処理機のあるカウンターは健康推進課のチラシ等を設置するためスペースがなく、現在はプレイルームの入口の下駄箱の上に設置しています。
	広報いが市に番組表の設置場所を載せたらどうか。	検討しましたが、広報紙の紙面への掲載記事が多いため、スペースが確保できません。 今後、コラムの終了などによりスペースが確保できれば掲載していきます。
	番組表をチラシではなくポスターにしたら写メで取るのではないか。	A3程度に拡大して貼ることも検討しましたが、各所の貼るスペースや貼ってもらう手間などからチラシの設置による周知としました。
	データ放送の番組表に載せられないか。	現在は番組表に「行政情報番組ウイークリー伊賀市」「文字放送」の表示はできているが、番組の詳細を表示するには、ケーブルテレビのシステム改修が必要のため、現在ケーブルテレビ内で検討中です。
忍者	忍者に関する史跡、人物、道具など、名前は知ってるけど詳しくわからない。それを解説したらどうか。	下記の概要による番組を制作しました。
	伊賀・甲賀の歴史に興味を持っている。なぜ伊賀忍者はネームバリューがあるのかを紐解いて歴史を教える。	制作概要 忍者市宣言【宣言文】 『私たち伊賀市民は、伊賀市が忍者発祥の地であることを認識し、忍者の歴史文化や精神を継承するとともに、忍者を活かした観光誘客やまちづくりを行うことを目指して、ここに「忍者市」を宣言します。』
	三重大学でどういふ忍者の研究がなされているのか教える。	
	昔の伊賀の人はこれだけすごかったということを広めればどうか。	
	史跡紹介。史跡が忍者とどのように関係しているか。	伊賀市に伊賀忍者がいたことは市内外に広く周知されているが、宣言文にある「忍者の歴史文化や精神」については詳しく理解している市民は少ない。
	シティプライドを高めるため、伊賀の歴史を知ってもらったらどうか。	知っていなければ継承することはできない。
	スタンプラリーと連動しても面白いのではないか。スタンプラリーをまわっているイメージでつくったらどうか。	
	忍者マップに沿ってまわっていくのも面白いのではないか。史跡はマニアじゃないとすごさがわからない。	このため、伊賀市行政情報番組の中にコーナーを設けて、伊賀市内に点在する忍者の歴史・文化の痕跡に光を当て、史跡と伊賀忍者との関わりや忍者の伝統を受け継いでいる市民の活動など、市内の忍者に関わる情報を紹介することで、市民が伊賀市内の忍者の歴史・文化を知り、これにより、なぜ伊賀市は忍者市を宣言したのかを知ってもらう。
	忍者フェスタなど、子どもは忍者が大好き。	あわせて、番組放送後は市外に向けてもYouTubeで情報を発信し、「伊賀市＝忍者市」をアピールする。
	小中学校で流してもらい、地域の良さを教えたらどうか。	
子供が面白いと思う番組を作ったらどうか。子どもが面白いと思ったら大人になったときにその子どもに見せるのではないか。		